

【公開 I】 5年3組 外国語科学習指導案

5年3組教室 伊藤 暢宏

1 単元名 Season 2 Round 4 Unit 5 地域のことを紹介しよう

2 指導の立場

(1) 題材について

本単元は、自分の知りたい場所や位置をたずねたり、相手を案内したりするために、場所や位置のたずね方や答え方などについて、短い話を聞いてその概要を理解したり、伝え合ったりする単元である。道案内では、Round 1～3で語句や表現に慣れ親しみ、Round 4ではそれをもとに実際に児童同士でロールプレイを行う。様々な場所への行き方をたずねたり、答えたりして、Where is ～? Go straight for ～ block(s). Turn left/right. You can see it on your left/right.などの表現や、建物などの語句の定着を図っていく。単元終末の活動では、「Dream Town Map」を完成させ、その地図を使って、道案内の活動を行う。

(2) 児童生徒について

本学級の児童は、活発な児童が多く様々な活動に対し積極的に取り組む姿が見られる。また、自分の課題に対して真剣に取り組める児童も多い。7月に行ったアンケート調査では、「英語は得意ですか」という質問に対し、「得意」「まあまあ得意」と肯定的に答えた児童は35人中25人。「英語のコミュニケーション活動は好きですか」という質問に対しては、「好き」「まあまあ好き」と答えた児童は35人中29人で、多くの児童が英語を学習することに対して肯定的で、その情意面が学習や活動への意欲につながっていることが

分かる。しかし、中には間違いを恐れて、英語で発話したり仲間と活動したりすることに躊躇してしまう姿が見られる。外国語科の授業では、自信をもって英語で会話をしたり発表したりできるように、Round 学習を通して繰り返し題材や言語材料に出会い、児童がそれらを自在に活用できるようにさせたいと考える。

(3) 指導について

本時は、道案内をする活動を通して、目的地への道順について既習事項を用いて正しく説明したり、正しく理解したりすることを目指す。外国語科では、「言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する」ことを目標としている。児童が各々で作成した「Dream Town Map」を使用することで、information gap が生まれ、コミュニケーションを図る目的（児童が道案内をする必然性）をもって学習に取り組めると考えた。

また、児童はこれまでのRound 学習でUnit 5までに学習した表現を用いて、そこでできることやその感想を伝えたり、相手の好みをたずねたりし、表現の幅を広げることができるようにしていく。

児童一人一人が相手意識をもって積極的にコミュニケーションを図り、コミュニケーションを取ることの楽しさや、コミュニケーションを取る際には、身振りや手振りを交えたり、話す速さや声の大きさに気を付けたりすることの大切さを感じさせたい。

3 単元指導計画

| | | | |
|--|--|--|------------------------------|
| 学年 | 第5学年 | 単元名 | Season 2 地域のことを紹介しよう (全28時間) |
| 単元で育む資質・能力 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人紹介や道案内、注文や会計の仕方の表現について理解することができる。〔知識及び技能〕 ・経験や生活とつなげながら、自分の考えや気持ちが他者に伝わるように工夫して伝えることができる。〔思考力、表現力、判断力等〕 ・他者の考えとの相違点や共通点に気付き、他者理解を深め、相手の立場に立って自分の考えや気持ちを伝えようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕 | | | |
| 時 | 主な学習活動とねらい | 評価規準 | |
| Round 1 ①～⑥ | <u>話の内容をつかむ Round</u> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の話聞く。 ・教師の質問に答える。 | 既習表現や単語などから話の内容を推測し、おおよその内容を理解することができる。 〔知識・技能〕〔主体的に学習に取り組む態度〕 | |
| Round 2 ⑦～⑨ | <u>話の内容を理解し、表現を知る Round</u> <ul style="list-style-type: none"> ・動画を視聴する。 ・どのような表現が使われているかを交流する。 ・聞こえた表現を繰り返す。 | 身近な人紹介や道案内、注文や会計の仕方についての動画を視聴して、話の内容を掴み、その内容を伝えるために使われている表現を知ることができる。 〔知識・技能〕 | |
| Round 3 ⑩～⑮ | <u>自分のことを話したり相手のことを尋ねて知ったりする Round</u> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Listen に取り組み、聞いたことや表現を用いてやり取りする。 ・用いた表現を読んだり書いたりする。 | 身近な人紹介や道案内、注文や会計の仕方について、聞いたことや表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 〔思考・判断・表現〕 | |
| Round 4 ⑯～㉑ 本時 ㉒ | <u>目的や場面、状況に応じて自在にコミュニケーションを図る Round</u> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面、状況等を把握し、自分の考えや気持ちを伝え合う。 ・他者との交流をもとに、考えや表現を再構築する。 | 身近な人紹介や道案内、注文や会計の仕方について、目的や場面、状況等に応じて、他者に伝わるように工夫しながら自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 〔知識・技能〕〔思考・判断・表現〕〔主体的に学習に取り組む態度〕 | |
| Round 5 ㉓～㉘ | <u>自己の学びを確かめる Round</u> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステスト（聞くこと・話すこと）に取り組む。 ・ペーパーテスト（聞くこと・読むこと・書くこと）に取り組む。 ・自分の学びを確かめ、次の目標をもつ。 | 身近な人紹介や道案内、注文や会計の仕方について、聞いたり読んだり話したり書いたりし、自分の学びを確かめることができる。 〔知識・技能〕〔思考・判断・表現〕〔主体的に学習に取り組む態度〕 | |
| 単元で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿 | | | |
| 問題解決力 | 外国語を用いて、自分の考えや気持ちを表現できるようになりたいという思いをもち、既習表現を活用し表現している姿。 | | |
| 関係構築力 | 相手に伝わるように工夫して自分の考えや気持ちを伝えたり、話を聞いて他者の考えを理解したりすることで、相互理解を図っている姿。 | | |
| 貢献する人間性 | コミュニケーションを通して自分の成長や仲間のよさに気付いたり、自分の考えや気持ちを表現しようとしていたりしている姿。 | | |
| 自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿の見届けの視点と手立て | | | |
| 問題解決力 | 身近な話題から課題を設定し、Round 学習を用いて繰り返し様々な言語材料に触れる機会を設けることで、スモールステップで発展的に活動を行い、単位時間ごとに課題意識をもちながら取り組んでいるか、活動の様子から見届ける。 | | |
| 関係構築力 | 質問しながら話したり相手の話を繰り返したりするなど、対話の方略的能力を指導する。また、相手に伝わる児童の話し方や内容を交流会で広め、表現を再構築する場を位置付け、交流の様子から見届ける。 | | |
| 貢献する人間性 | 児童にとって身近な話題から世界とのつながりに気付ける話題を提供する。自分や友達の成長やよさを振り返る場を設け、価値付け、活動や交流の様子、振り返りの内容から見届ける。 | | |

4 教科にかかわる本時のねらい

仲間に行ってみたいと思ってもらえるように、既習表現を用いて「Dream Town Map」の紹介をしたり、仲間の話を聞いて仲間の考えた「Dream Town」にある施設や、そこへの行き方について理解したりすることができる。

[知識及び技能]

5 本時の展開（6/10）

| 児童生徒の学習活動 | 教師の手立てと見届け |
|--|--|
| <p>1 Song Time</p> <ul style="list-style-type: none"> 道案内についての表現や英語のリズムに親しみながら楽しく歌う。 <p>2 Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 「○○はどこにありますか。」について尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手の話に対して、さらに質問したり反応したりしながら対話する。 <p>3 Today's Aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>仲間に行ってみたいと思ってもらえるように、「My Dream Town」を紹介しよう。</p> </div> <p>4 Enjoy Communication</p> <ul style="list-style-type: none"> 道案内についての表現を用いて、「Dream Town Map」にある施設までの行き方を説明する。 相手の道案内を聞いて、施設の場所を理解する。 教師の話聞き、目標に近づく姿を確認し、そのための方途を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Where is zoo? B: Zoo? Go straight for two blocks. Turn right. Go straight for two blocks. Turn left. Go straight for one block. Turn right. Go straight. You can see it on your left. A: Here? B: Yes. That's right. Do you like animals? A: Yes, I do. I like pandas. Do you like pandas? B: No, I don't. I like tigers.</p> </div> <p>5 Kira-Kira Time</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の目標に沿って自己評価を行い、自分や仲間のがんばりを確かめたり次時の目標をもったりする。 教師による評価を聞く。 | <p>(●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今までに学習した題材を繰り返し扱い、既習表現を活用し、定着させる場を設ける。 ●自分のことを詳しく伝える表現や、相手の話に対して質問したり反応したりする表現を確認し、活用できるようにする。 <p>○相手の反応に応じて繰り返したり、話し方を工夫したりしている児童や、相手の話に対して質問したり反応したりしている児童の表現を広め、他者意識をもって活動することができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>研究にかかわって</p> <p>【見届ける視点】</p> <p>相手に伝わるように工夫して道案内をする姿や、相槌を打ったり繰り返したりするなど共感的に相手の話を聞く姿から見届ける。(関係構築力)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●児童を価値付け、次時への願いをもたせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価規準】</p> <p>既習表現を用いて道案内をしている。また、道案内を聞いて、相手の「Dream Town Map」のどの場所にどんな施設があるか理解している。[知識・技能]</p> </div> |

【公開 I】 8年2組 外国語科学習指導案

8年2組教室 浅井 拓也

1 単元名 Season 2 Round 3 Unit 4 Homestay in the United States

2 指導の立場

(1) 題材について

本単元は、登場人物の海斗が夏休みの間にホームステイを行い、ホストファミリーと生活する中で学んだことや考えたことを紹介する単元である。生徒は、海斗のアメリカでの生活や、他の登場人物のホームステイの感想から、日本との生活習慣や文化の違いを知り、ホストファミリーと共に暮らすためにどうすればよいかを考えることができる。旅行と違い、家族の一員として過ごすホームステイでは、ホストファミリーと円滑にコミュニケーションをとることが重要になる。本文では、海斗が家庭内でのルールを教わる場面や、ホームステイに関するアドバイス、他の登場人物のホームステイの感想などが紹介されており、生徒はコミュニケーションの大切さや難しさについても考えることができる。人によって考え方が違うことや、場所によってルールやマナーが違うということを知り、理解を深めることで、多様な考えの人と生活していくには、互いの考えや思いを尊重していくことが大切であるということに気付かせていきたい。そして、ホームステイをする上で大切なことは何かを考え、生徒それぞれが自分の意見を述べられるように指導していきたい。単元を通した学習の中では、本文の内容理解に加え、生徒それぞれの家庭での生活習慣やルールなどについても取り上げ、仲間と交流していく。帰宅時間や就寝時間のような生活習慣や、家族の一員としての役割など、自分の家庭では当たり前だと思っていることにも、各家庭によって違いがある

ことを知り、それにより自分と他者の生き方や考え方についても理解を深めていけるようにする。

(2) 児童生徒について

有名な観光地や食べ物など、海外の文化についてある程度の知識がある生徒は多いが、それぞれの家庭での過ごし方やマナー等については分かっていない生徒もいるため、本単元の学習を通して理解を深められるようにしていきたい。また、クラスの仲間と交流する際に自分の家庭でのルールなどを伝え合うことで、自分が当たり前だと思っていたことが他の家庭では当たり前とは限らないことに気づき、生徒の他者に対する見方が広がることにもつながると考える。

(3) 指導について

本時は、本文の概要を説明したり、家庭生活でのルールに関する自分の考えや思い、経験などを話したりする活動を通して、既習事項を正しく使いながら、考えや思いなどを表現することを目指す。教科書の登場人物たちのホームステイ先でのルールや生活の様子に対して自分はどう思うかを仲間に伝えたり、自分の生活と比べながら話したりできるようにする。適宜、中間交流や質問の場を設け、仲間の表現から学んだり、困り感を解決したりすることができるようにし、自己表現の幅を広げることができるようにしていく。

生徒は、Round 1 と Round 2 でリスニングや本文の読解を行い、そこで使われている言語材料を理解したり、本文の内容について大まかに捉えたりした上で本時を迎える。本単元で学習する have to～や助動詞 must などの既習表現を用いながら、教科書の概要や自分の考えを伝えたり聞いたりすることができるようにする。また、仲間の考えや表現の仕方を知ることを通して、クラスの仲間についてより深く理解したり、英語による表現の仕方を工夫したりすることができるようにしたい。

3 単元指導計画

| 学年 | 第8学年 | 単元名 | Season 2 Round 3 Unit 4 Homestay in the United States (全34時間) |
|--|---|-----|--|
| 単元で育む資質・能力 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 既習事項を正しく使いながら、本文の概要やそれに対する自分の考えを表現するために、本文の詳しい内容や単語、文章の正しい発音方法などを理解することができる。また、海外の国の文化や生活習慣、他者と自分との考えの共通点や違いなどを知るとともに、それらに対する自分の考えをもつことができる。〔知識及び技能〕 本文の概要や、それらに対する自分の考えや経験について、相手に伝わるようにリテリングをすることができる。また、目的や場面、状況を理解し、相手意識をもって、自分の考えや伝えたいことを表現することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 海外の国の文化や生活習慣、他者の考えや意見などに対する理解を深め、相手の理解を確かめながら話したり、相手の話を理解しようと努力したりしながら、自分の考えたことや思いを伝え合おうとしている。〔学びに向かう力、人間性等〕 | | | |
| 時 | 主な学習活動とねらい | | 評価規準 |
| ① | 単元のオリエンテーションを聞き、単元の流れを理解することができる。また、自分が興味をもっていることやその魅力について、仲間と紹介し合うことができる。 ・トピックに沿った表現活動を行う。 | | ・トピックについての自分の考えをもち、仲間とコミュニケーションをとることを通して、自分の考えを表現したり、仲間の考えを理解しようとしたりする姿。〔主体的に学習に取り組む態度〕 |
| Round 1 ②～⑦ | 本文の音声を聞き（リスニング）、概要を理解することができる。また、つかんだ概要についてリプロダクションを行うことができる。 ・本文のリスニングを行い、内容に関する簡単な問いに答える。 ・本文の概要について、リプロダクションを行う。 | | ・本文の音声を聞き、その要点を捉え、語彙や表現方法を理解しようとしている姿。 ・本文の概要について、仲間とリプロダクションを行っている姿。 〔知識・技能〕 |
| Round 2 ⑧～⑳ | 本文や単語の発音方法を知り、それを聞いたり発音したりすることで、文字と音声を結びつけることができる。 本文の読み取りを行い、要点や細部情報を理解することができる。 ・単語の発音練習をする。 ・本文の内容を読み取ったり、文章内で使われている表現方法を理解したりする。 | | ・本文や単語の音声を聞き、正しい発音について理解している姿。 ・本文の内容を読み取り、その要点や内容を理解し、語彙や表現方法を取り入れようとしている姿。〔知識・技能〕 |
| Round 3 ㉓～㉔ 本時 ㉔ | 教科書本文を音読したり、教科書の表現や既習表現を活用してその内容について相手に説明したりする活動を通して、教科書本文の概要や自分の考えなどを的確に表現することができる。 ・本文の音読を行う。 ・本文のリテリングを行う。（自分の考えや意見などを取り入れた上での話す活動が中心） | | ・本文を音読することで、その文章の発音や表現方法を理解し、語彙や言語材料を取り入れている姿。〔知識・技能〕 ・本文の概要だけでなく、自分の考えや経験を取り入れながら、リテリングをしている姿。〔思考・判断・表現〕 |

| | | |
|------------------|---|---|
| Round 4 ②9～③1 | Unit4～Unit6の題材を中心とした表現活動に取り組み、目的や場面、状況に応じた表現方法を用いて、仲間に自分の意見を伝えることができる。また、相手意識を明確にもち、「何を、どのように」表現するのかを吟味しながら活動を行うことができる。 ・目的や場面、状況を考えながら、表現活動を行う。 | ・目的や場面、状況を意識し、相手意識を持ちながら、自分の考えや気持ち仲間へ伝えたり、他者の気持ちや考えを理解したりしている姿。[思考・判断・表現] |
| ③2 | 出口の活動であるパフォーマンステストに向けて、自分の考えを構築する。設定された課題に対して、目的や場面、状況に応じた表現方法を用いて、仲間に自分の意見を伝えられるように準備をする。 ・パフォーマンステストに向けての準備や練習を行う。 | ・目的や場面、状況を理解し、相手意識や目的意識をもって、自分の考えや伝えたいことを構築し、パフォーマンステストに向けて準備をしている姿。[思考・判断・表現] |
| 出口の活動 ③3③4 | 設定された課題に対して自分の意見を持ち、相手意識をしっかりとって意見を表現することができる。 ・パフォーマンステストを行い、自分や仲間のパフォーマンスについての振り返りを行う。 | ・目的や場面、状況を理解し、相手意識や目的意識をもって、自分の考えや伝えたいことを表現している姿。[思考・判断・表現] ・仲間の発表の姿から、内容面や表現面で自分に取り入れられるよさを考えながら学ぼうとする姿。[主体的に学習に取り組む態度] |

単元で自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿

| | |
|---------|---|
| 問題解決力 | 言語活動を通して、ラウンド学習で獲得した知識及び技能を活用しながら、教科書の登場人物たちのホームステイ先の生活の仕方やそれに対する自分の考えを話したり書いたりする姿。 |
| 関係構築力 | 言語活動を通して、目的や場面、状況を考えながら、自分が伝えたいことが相手に伝わるように話したり、仲間の考えや意見を取り入れて自分の考えを再構築したりする姿。 |
| 貢献する人間性 | 登場人物たちのホームステイ先での生活に関する概要を捉えたり、それらに対する自分の考えを持ち、仲間と交流しながら考えを深めたり伝え合ったりしようとする姿。 |

自己実現に向かうための資質・能力を発揮している姿の見届けの視点と手立て

| | |
|---------|---|
| 問題解決力 | 本文の概要やそれに対する自分の考えを表現するために、既習事項を用いながら単位時間ごとに課題意識をもって取り組んでいるかを学習の様子やワークシートへの記述などから見届ける。 |
| 関係構築力 | 仲間との言語活動や中間交流など、他者の表現や考えを学ぶ場を設定し、自分の伝えたいことが相手に伝わるように表現しているかどうかや、仲間の意見を取り入れながら自分の考えや表現を再構築しているかを交流の様子から見届ける。 |
| 貢献する人間性 | 仲間との言語活動や中間交流など、他者の表現や考えを学ぶ場を設定してその様子を観察したり、考えたことや学んだことをまとめたワークシートの記述を読んだりして見届ける。 |

4 教科にかかわる本時のねらい

Unit 4 の概要を説明したり、家庭生活でのルールに関する自分の考えや思い、経験などを話したりする活動を通して、既習事項を正しく使いながら、自分の考えや思いなどを表現することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕

5 本時の展開 (24/34)

| 児童生徒の学習活動 | 教師の手立てと見届け |
|---|--|
| <p>1 Small Talk… 2 ペア程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアを変えながら、トピックに対する自分の考えや気持ちなどを伝え合う。 ・全体交流の場で、英語表現などを確認し、次の活動に生かす。 <p>2 Today's Aim</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海斗たちのホームステイについて、自分の家での生活と比べながらリテリングしよう。</p> <p>3 Pair Activity① (Retelling ☆Speaking) … 1 ペア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの挿絵を用いながら、ペアとリテリングする。 <p>4 Reading textbook</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読後、教師が提示する挿絵やキーワードを元に、本文の概要を確認する。 <p>5 Teacher's Talk with ALT … 自分の表現に取り入れられるようにする。</p> <p>6 Pair Activity② (Retelling ☆Speaking) … 2 ペア程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で確認したことを踏まえ、別のペアとリテリングする。 <p>7 Sharing Time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんは別の言い方で言い換えて話していたから、自分も取り入れて話してみたいな。 ・自分の家でのルールについても付け加えながら話してみよう。 <p>8 Pair Activity③ (Retelling ☆Speaking) … 2 ペア程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体交流で確認した表現を自分に生かし、さらに複数ペアとリテリングをする。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Look at this. They are doing a homestay. This is Kaito. He must go back home by six because his host family has dinner at six. It's earlier than my house. I must go home by seven. And he must not go out alone in the evening because it's not safe.</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Next, they are Mr. and Mrs. Wilson, Kaito's host family. They don't watch TV or have video games. But Mrs. Wilson taught Kaito a word game. They enjoyed the game. I want to try it. I think staying with a host family is difficult. But I want to do a homestay someday. What do you think?</p> <p>9 Evaluation Time … 最初に交流したペアと再度話す。話した後に、1 回目と変わった点や成長した点を伝え合い、1 時間での学びや成長を確認し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 回目より詳しく伝えられていたね。 ・自分の考えを入れながら話せていいね。 | <p>(●教科の資質・能力 ○自己実現に向かう資質・能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○●生徒が交流する様子を見ながら、適宜全体交流をする。質問の場を設けたり、仲間の表現を紹介したりして、使える表現が広がるようにする。 ●一度リテリングを行い、うまく話せなかったことを話すことができるようにするために本時の学習があることを伝える。 ●教科書の内容を整理できるように、場面ごとの挿絵を見せて質問し、キーワードをもとに本文の概要を捉えられるようにする。 ○●教師と ALT による家庭生活についての会話を聞かせたり、生徒に問いかけたりし、自分の考えや家庭でのルールなどを想起させた上でリテリングに取り組めるようにする。 ○●全体交流では、仲間の表現のよさを共有したり、質問の場を設けて確認したりすることで、様々な表現を取り入れて考えを再構築した上で、後半の交流に臨めるようにする。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">研究にかかわって</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">【見届ける視点】</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">自分の考えを取り入れながら、①何を、②どのように話せば相手に伝わるのかを考えてリテリングしている姿から見届ける。(問題解決力)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【評価規準】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本文の概要に、自分の考えや経験などを加えながら、10 文程度の正しい英文でリテリングをしている。〔思考・判断・表現〕</p> |